**北大生協2022年度 第６回定例理事会　発言録**

1　日時　2022年11月24日（水）　18:15～20:30

2　場所　北大生協会館店3階・会議室　（札幌市北区北8条西7丁目）

以下の理事は、webテレビ会議システムにより出席した。

　　　　　　　　　林　忠一常務理事 （北大、事務室）

コリー　紀代理事 （自宅、札幌市白石区）

今村　央理事　　 （自宅、北海道函館市）

3　出席役員

理事総数　　20名中16名出席

（出席理事）小助川誠専務理事、鏡秀隆常務理事、林忠一常務理事、井崎貴皓常務理事、原拓也常務理事

田代直也常務理事、金川眞行理事、伊藤美香理事、今村央理事、コリー紀代理事

髙木暉馬理事、石本万象理事、野呂香綸理事、逸見京花理事、羽木康祐理事、奥山莉子理事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席理事）坂爪浩史理事長、小松慎太郎理事、小篠隆生理事、小川美香子理事

監事総数　　5名中5名出席

（出席監事）芳賀永監事会議長、岡野泰樹監事、浦田翔吾監事、黒川昇悟監事、寺西ほの花監事

（注：webテレビ会議システムにより出席した方を含みます）

（欠席監事）なし

（オブザーバー）嶋崎聡（大学生協事業連合北海道地区管理統括部長）、齋藤店舗事業部部長、

神田マネージャー、百石マネージャー、村田礼二マネージャー、片木圭二理事会室室長

なお、議事に先立ち理事会参加者全員が、一堂に会するのと同等に充分な意見交換ができることを相互に確認した。

４　議長　原常務理事

５　上記の通り理事の出席があり、理事会規則第8条に基づき本理事会は成立した。

18時15分に理事会規則の規定により、議長に原常務理事を選任した。原常務理事は、理事会の開会を宣し議事に入った。

**討議事項　2023年度のミールプランの提案について**

（金川）３ヵ年計画の初年度という話で説明がありましたが(1)の23年の目標のところで、最終的な３年後のシェア率の目標は60%で、23年は新入生42％と書いてあるんですけれど、このままいくと目標が40、50、60％と行くみたいな考えでしょうか？３年計画で、どういうストーリーで１年目を迎えるつもりなのかと言うところで「１年目はこうします。２，３年目はこうする予定です」という説明だともうちょっとわかるかなと思います。値段とかは特に異論はありません。値段よりは中身だと思うので、いかに美味しく、食べたいメニューを提供するかがシェア率を上げるというところだと思うので、親に出してもらっていると、人によっては食べても食べなくても良いかなと思っている方ももしかしたらいるのかなと想像できるので、やはりミールカードを持っている人が食べたいと思えるメニューと雰囲気を作っていくのが、シェア率アップのキーポイントかなと思います。「有利ですよ」とかと言うよりは、いかに食べてもらうかというのが大事かなと思います。

（神田）シェア率の目標数値です。最終的には使用率が倍になる計画なので、あまり単純計算で提案してもと言うところで計画的に40，50，60と段階的に目指していくという視点と新規シェア率もそうなのですが、最終的には継続率の関係からも段階的に考えていくことが良いだろうと考えています。実数値としては新入生の所に1010名と書かせていただきましたが、最終的な目標としては2500名中1500名のシェア率を目指すことになりますので、やはり提案力だけではなく、おっしゃる通り食堂のメニュー提案を含めて段階的に毎年なのか計画を見直しながら考えていきます。現段階で食堂の事業として何をどこまで目指すかというのは、まだ具体的に決まってはおりませんが、そういった形で初年度を想定しています。

（石本）４ページの① ② ③とあるところですが、①の２つ目はミールプランを利用している学生の声を取り上げて、こういう風に使っていますよ、という事例を取り上げていると思うのですが、１つ目の「新入生の保護者の声に沿った提案内容」というのは具体的にどういうことなのでしょうか？

（神田）１つ目の部分は、保護者が生活面にいかに不安に思っているか、入学後の学生の利用状況であったり、新入生の利用実態データを多く掲載してより不安に感じていることに対して「こういう回答を含めてミールプランを進めているのですよ」というのをわかりやすく提案していきたいと考えています。また同時に、今週末に初回の説明会がありますが、そこからもうちょっとブラッシュアップしてどのような提案が一番、受験生の保護者の方により良い情報なのかということを常に見直しながら進めていきたいなと考えているところです。

（奥山）ここにいる学生に訪ねたいと思っていることがあります。ミールを今知った人たちもいるかもしれないのですが、この中でミールプランを使っている人が何人ぐらいいるのか聞いてみたいです。また、自分が新入生だったら欲しいなと思う人はどれくれいいますか？まず、ミールを今日の理事会まで知っていたよと思言う人手を挙げてもらってもいいですか？

（奥山）続いて、この神田さんの提案を聞いて「ミールいいなと正直に思った人。来年は入りたいなと思った人。

（井崎）僕がミールに入っていないのは、僕は研究室に入っていて、周りには食堂に行かなくて良い人たちがいるので、食堂に行く日とかが4年生になった時点で曖昧だったというのがあって、いらないかなと思ったのですけれど、新入生だったら昼ご飯は普通にミールの存在を知らないまま毎日通っていたのですが、毎日授業がある状態で、昼休みに毎日食堂に行くのであればお得だと思うので、買いたいと思いました。

（田代）自分は今ミールプランに入っているので、何がいいのだと言うより辞める理由がないと言うところです。

（奥山）では続いて正直ベースで微妙だなという方の意見を聞いてみたいなと思います。自分は院生なので生活が違うからミールには入っていないのですが、学部生の方で答えていただける方はいらっしゃいませんか？

（石本）下のほうのプレゼン資料のところにセットメニューの例みたいなのが付いているのですが、個人的にはもう１品食べたいんですよね。個人的にはこれプラス、デザートをもう１つぐらいは食べたい。どうせそれ以上食べるならミールはいいかなというのが１つと、新入生だと毎日行くし買いたいという人がいるかなとは思うのですが、上級生になってくると正直学食を食べ飽きるじゃないですけど、割とメニューを食べ尽くしてしまい、なんかちょっと学食以外でお昼ご飯食べたいなって思うことがあるので、上級生になってミールの選択肢がなくなる感じです。

（奥山）ちなみに今何年生ですか？

（石本）３年生です。

（奥山）来年１年生だったとしたら食べたいとミールカード入りたいと思いますか？

（石本）今より食べる量が多かったと思うのでちょっと物足りないかなと言う気がします。

（羽木）入るかどうか迷ったのですよ、僕も。結果的にオンラインの授業が多かったので入らなかったのですが、今でもそうなのですけれど、大学に入ってからじゃないと時間があるのかどうかもわかんないし、大学生活を実際に体験しないと見えてこないものがあって、学食をどれくらい使うのかわからないので、そういう意味では入る前の時点でもそうだし、入ってから数ヶ月間を途中から入れるというところにもうちょっと力を入れていったほうがいいのかなと思います。授業が始まってからやっぱり無理だってなったときに、すぐ入れるようだともっと利用率が増えるのかなと思いました。

（奥山）この中の学生１４名が入りたいと思ったら、単純計算で４割になると思います。その中に家庭的な経済状況の問題があって別に入らなくて良いという結論になることもあると思うので、１０名中６名位がいいなと思ってくれたら達成できるというのが、私が最初に話を振った理由です。何割かは考えませんが、今年対面授業が増えて学生とかに、新入生だったらというような視点で、提案に織り込んでいっていただけたらいいのかなと思いました。

（神田）入学後にミールプランを検討される方も結構いまして、４月以降に申し込みされている方も50、60名程度おります。そこの部分を知らせる活動をしっかりすべきだとおもいました。

来年の新入生の保護者の方のパンフレットの中身についてですと、おっしゃる通り、実際どれぐらいの人が食堂を使うのかわからないという面でいきますと、先輩アンケートを選出する中身で、１年生の７割は毎日食堂に行っているというのが新たに今年追加した部分だったりします。それでも通ってみないとわからないことあると思うのですが、そういった様々なデータをもとに検討していただければいいなと思います。また完成したものに関してもいつでもご意見いただければなと思います。

（原）もし自分がミールプランを申し込むかどうか迷っているときに、何が決め手になるかなと考えたら１０万円分ちゃんと使えるのかっていうのが1番不安で、この１年間どういう生活をするのかわからなく、毎日大学に行く予定なのかもわからない４月１日の段階で、１０万円投資して、それを使いきれる確証が持てないのが一番のハードルになるのかなと思います。他の大学生協さんでは返品みたいなことやっているのですよね。１年間の間に規定額使い切れなかったらその何％かを割引いてくれたり、もしくは来年度のミールプランの割引にするようなことができて、今後1年間使えなくなったとしても完全に無駄にならないよとなり、ハードルが下がって、購入する決め手になるのかなと思っていました。大学院生になってくると食堂に毎日行くと飽きるという話もありましたが、購買でも使えるようになれば、マンネリ防止にもなって、使う上でメリットになるかなと思いました。前に個人的に東北大学とか鹿児島大学でどういうことをやっているのかなと見たことがあるのですが、購買部の方でも店舗で「お弁当やサラダ、ドリンクもミールプランで買えますよ」ということをやっていたので、それはすごいなと思って、食堂に行く時間がないときにあらかじめ購買で買って、ミールプランとして使えるということがあったら契約したいかなと個人的に思いました。

（奥山）確かにそうだと思っていて、職員の皆さんの方が親として子供にこれを持たせたいかというのがちょっと気になってはいて、自分だったら96,000円、ミールカードにだけ出すのだったら、96,000円チャージにしたいです。96,000円分を１年間で使えるかどうかもわからないならとりあえず初年度は96,000入れたらいいじゃないか思います。食堂でしか使えなくて毎日食堂に行くかわからないなら「お得になるかな？」というのは普通に財布を持つ人として考えますよね？新入生は「食べたい、食べたくない」で言うと思うのですけど、職員さんが持っている経済的な考え方が入らないと契約にはつながらないのかなと思っていて、何か答えが出ているわけでは無いのですが、そういう視点も大事なのかなと思いました。

（金川）親の視点から言うと、金がない時でも食べられるなら男の子なら持たしてやりたいと思いました。うちの息子は北海学園行きましたので４年間分の保険とか、パンフレットではいっている保険とかは入りましたが…。ICチャージだと賢い子なら課金して飲み会に使ってしまったり、２年目くらいになると、４月の段階で全て中身がないと言う状態になっていたりする恐れが非常に高い。ミールプランの話をしていますけれど、究極はミールプランを買わなくても食堂をバシバシ使ってもらって、普通の料金で食べてもらうのが理想的です。それを無理矢理お得感を出して、引っ張ってくるということなので、あまりミールプランに縛られるよりは美味しいメニューを作ってもらい、より良い雰囲気でご飯が食べられれば、それがなくても食堂に来てもらえるので、ミールプランの加入率にだけ拘らないで、こんなのがなくてもみんなが食堂に来て、食堂の利益がバンバン出れば、ミールプランの加入率が45％でもいいよって思う食堂になっても全然かまわないのではないかと思います。ミールプランは入れば入るだけ生協さんにはマイナスになるので、あまりここにこだわる事は無いのかなと思いました。経営の側面でしっかりと落ち着いたほうがいいのかなと思います。

（原）ミールプランって、使ってもらうとマイナスになるのですか？

（小助川）マックスでやるとマイナスです。

（齋藤）17年、18年に関しては持出です。

（原）2％から3％持ち出しと書いていますね。

（齋藤）これはミールプランを買わないで使っていた方が得だったり、ミールプラン以上に使ってもらっている人が今年度は18年度ベース位です。

（神田）消化率は18年度データが月割のないものなので、利用率で言うと、本年度の方が高いので、トータルでミールプランを申込金額以上に、個別に見るといろいろあるのですが、ミールプランの利用者の総額で見ますと、申込額よりも2～3%多いです。ひとつ、あまり大きな声では言えませんが、損得と言うとそういう考え方になるのですが、大事な事はミールプランがあることによって食堂で食事が取れることで、そのために食堂に行こうかと言うことになることなのではないかなと私は思っていまして、逆にほかの大学生協のように、使わなくても返金されるプランだったら、どれだけ利用されるかがちょっとわからないと言うので、それはほんとに検討していくべきなのかなと言うふうに思っています。意見にいろいろ出ているようにそれよりは利用したい食堂を作ることの方が優先なんじゃないかなと言うふうに考えている側面もありましたのでここだけお話しさせていただければと思います。

（伊藤）パワポの資料の写真なのですが、あまりにも美味しく見えなさそうなので(笑)なので本番の写真は、並ぶ順番変えたりだとか、このまま出るのはちょっと(笑)

（小助川）これはこういうコースで今回提案をさせていただくという事ですが、今いただいた意見はこれから新入生とか受験生への提案に生かしてミールプランの申し込みをして頂きたい旨伝えていきます。

色々とご意見を頂きまして、早々に取り込めるものとこの後検討が必要なものがあるので、参考にさせていただければなと思います。ありがとうございました。

**議決事項　第１号議案　2022年10月期営業統括および決算承認の件**

（金川）営業報告のうち、サービス部門の北部トラベルのところで「全国旅行支援割の問い合わせもある」とあるが、出張には旅行割引を使うなと通知が来ていたと思うので、ホテルでそういうパックをしていない？

（齋藤）出張関係では販売をしていなかったのですが、細かい話になるのですが、県別にやっていて適応するものが若干異なるのでどこどこへ行きたいですって言った時に一個ずつ調べているので、苦労しているとのことです。

（奥山）私の体感なのですが、2019年比で人が増えているなと思っていて、19年比で50％パーと言うのを見ているとなんでなんだろうと純粋な疑問があるのですけれど、それは例えば工学部食堂前がすごく並んでいて、前も並んではいたけど、今年も並んでいるなと思いますし、なんでだろうと思っていたのですが。

（小助川）混雑がひどいと言うことですか？

（奥山）混み具合としては体感80％ぐらい。ここで言われてもおかしくないなと思う位混んでいるなぁって思うのですよね、昼のピークは特に。それは営業時間が短いからでしょうか？

（齋藤）上期からの傾向で、多くは変わっていないのですが、12時台、いわゆるピーク時間帯は７割から８割位戻っては来ています。ただ、11時台、13時台は半分位と言うところでその周辺の時間がやはり少ないと言う事と、工学部はまだ完全に営業時間が戻り切っていなくて、14時から17時半は営業していないので、他の客数としては半分になっているところがあると思います。後は、夕方営業の客数に大きく影響しているかなと思いますが、食堂とか生協の利用しなかった２年間の学生が「購買に寄って帰ろうか」とか「食堂に寄って帰ろうか」という習慣がない事、食堂に行く友達がいるわけじゃないですか。なかなか集まるような状態に戻れてないところが大きくて、しかも学年別のデータが出せていないのでわからないのですが、そういうところがあるかなと思っています。

**議決事項　第4号議案　ICカード規則の改訂について**

（井崎）2022年1月から始めるって言う事なのですが、現在アプリにはどれくらい登録してもらっているのでしょうか？

（鏡）アプリの登録は今週月曜日時点で2000ちょっとです。

（井崎）これは多い方ですか少ない方ですか？

（鏡）組合員としては1万ちょっと必要なので、まだまだ少ないです。

（井崎）チラシとかで置いてあるとは思うのですけれど、なかなかまだ知らない人も多い感じがします。2023年1月が迫っているので…

（鏡）アプリ実態についてはまた後ほどご報告させていただきます。この議案は、制度として改定していかないといかないのでその議決をお願いします。

**報告事項３　出資金動態報告**

（金川）職員証を落としたら、アプリでなんとかしなきゃいけない？

（鏡）はい。今度は組合員番号が変わることになります。更新されていくことになっていくので、組合員番号が固定にならないと言うことがあります。手続きをお願いすることになります。

（金川）大学には報告しているのですか。

（鏡）まだできていませんが、ご報告に行く予定です。

**報告事項４．理事会室報告**

●工学部でのコンビニ出店の公募について

（金川）こういうことって理事会の審議事項とかにはならないのでしょうか？一部で決めていいような話ではないような気がします。どちらかというと重要事項に近い案件ではないかなと思うのですが。出るか出ないでかなり営業に影響があるので、これ逆に手を挙げることにしましたよとなると、どういう資金計画でどういう将来計画があって手をあげることにしたの？と言う話をしなきゃならなくならないと思うので、多分審議事項でしょう。

（小助川）元々ファミマさんとは繋がりがあるものですから、出る出れないという話で連絡が来ました。（）そういう話は一切していなくて、連絡は明日来るので。もしかしたらファミマさんも出ないと言うことも考えられるので。ただセコマさんは絶対出るのではないかと。他のところに取られるのだったらと言うことです。

（金川）皆さんがこれは報告事項で良いと思われるのであればアレなのですが、これは理事会にかなりの影響のある話なので…

（奥山）今の話は公募が前提みたいなことで話が進んでいると思うのですが、大学の職員担当者の方はここにコンビニを作るとした時点で生協に入ってもらおう、店舗を出してもらうという提案があったと信じたいのですが、この時点でどんなことを考えていらっしゃるのか先方から聞いていたりするのですか？

（小助川）３週間前に言われて、コンビニを工学部としてアンケートをとって食堂の混雑や品揃えの充実など、そういうことに応えていきたいという理由です。今回は仕様書を見るとセイコーマートとちょっと違って、売り上げの何％を寄付するとかと言うものはなくて普通のコンビニを入れて家賃収入をいただくという内容になっていて、ほんとに福利厚生の要望に応えていくという話です。

（奥山）おそらくここにできると、北部を使うのは一年生がメインだと思うのですが、工学部の北系が全滅すると思っていて、あそこら辺は研究室が多いので、屋内で行けるところに買い物する場所ができたら絶対行くのですよ。そうなったときに北部に一気に人が流れなくなります。特に購買とか２階まで上がらないとならないし、外も通らないとならないというのがなくて済むので、そこはちょっと出店停止の権限はこちらに無いのはわかっているのですが対策していかないと北部の売り上げがガタンと落ちると思ったので心配でした。

（小助川）影響もやっぱりあると思うのですが、最後に軽く言ったことであるとうちの対策事項で言うと、北部、購買のお店を現在食堂の２階にあるところを、食堂のところに降ろして利用しやすくするとか、前回のセイコーマートもそうですが影響は1割ぐらいでだんだん戻ってきたのですが、食堂は違うという実態がありますので、コンビニのところで特に影響が出るのでその対策は押していこうと思います。

（石本）大学として工学部食堂の混み具合とか、品の充実ということを出していることで始まったと思うのですが、コンビニを公募するより先に生協に対して「こういうものを充実させてくれ」とか、要望を出すのが先だと思うのですね、本当は。それはどうなのかなという不信感というか、率直な疑問がなかなか拭えないというのがあります。

（小助川）そういった情報共有をちゃんと持てるような繋がりを出来ていなかったというのがあると思うので、ギリギリにこういう話をされるというのは、この２年間、訪問等もできてなかったというのもあるので、情報を得られなかったのはこちらの落ち度だったというのもあります。

（石本）その解釈もわかりますが、大学と生協で「福利厚生に努めよう」という協定を結んでいるのに、そこでこのような事をされると、協定違反みたいなことにはならないのですか？

（小助川）今回のコンビニの出店と言うのは、北大が入れる入れないという判断というか、そこの関係で業務委託契約を結んでいるので、今回は学部判断だったので、また協定についてはちょっと違います。大学の本部としては「出すな」と言えることじゃないので。

（金川）数十年にわたる大学と生協の関係も関係していると思います。両方の立場でしゃべりますが、生協にできることとできないことがあるし、大学としてやってほしいところもあって、そこでその長期に亘って色々とすれ違いの部分もあって、だからセコマが中に入ってきたのは長年大学としては生協にこういうことをして欲しいって言うのをずっと言ってきたのに、結局実現しないから入れるしかないねと。

「他の大学はコンビニをいっぱい入れているのになんでうちにはないの？」と言うユーザ側からの意見が北大にも上がってくるじゃないですか。そうなると結局近くにあるコンビニに行っていてそれでセコマが入ってきた。工学部も食堂も購買もあるけれど、あれだけたくさんいる工学部の住人ニーズを賄い切れないならば、ちょっと遠慮して離れたところにコンビニを作ろうとしているのではないでしょうか。すぐ近くの中央に作るのではなくて北の端に作ってみたと。そういうのもあるのですね。あの北のほうの人たちにすれば中央の食堂や購買は遠いじゃないですか。どっちがいいとかどっちが悪いとか、契約の有無の世界ではないと思います。端的には判断でき()。これがコンビニの資料なのですが、企画競争入札と言って、決して賃料だけでは無いのです。要は企画だから「賃料の他に我が社は毎年学生さんの奨学金を寄付します。」「ここに作る他に毎年何かこういうものを提供します」とか、「バイトの学生に奨学金を出します」などの提案もあり、その辺を含めて入札する企業のほうにどういったことを提案してくれるか、大学として一番良い企業に入っていただくと言うことなので、申し訳ないのですが、生協は太刀打ちできるものを出せないと思います。向こうには儲け度外視にすると勝てないので。「大学の中にコンビニを入れてこういうことができます」と言うPRになるので、セコマは土屋ホームと連携しこういうのをやっています、こういうのを使っています」という広報に使っているので、儲け度外視でできるのです。そういうのは生協にはできないと思うので、手を上げなかったと言うのは正解かなと思います。ここで戦うことは無いと思います。

**報告事項５．営業報告**

（金川）コピーマシンなのですが、これを複合機にしていくという計画は無い？複合機にして、組合員カードの認証で使えるようにして、これからのプリントに使えるようにしてあげたほうがより使いやすくなるではないかなと。100%電子データで出すと言う事や100%紙を使わないという事は我々の事務やっていても無いし、無理なのでなくならないと思うのです。複合機にしてデータを飛ばしてプリントできればと思うのですが。

（野呂）家に帰ってプリンターでプリントしちゃいますね。つかわないと思います。

（金川）もうすぐ認証をかかなきゃならないので、コストが安くはできないかと思うのですが、勉強したもののコピーだけじゃなくて直接出力もいるので、そっちにしたほうが得かなと思うのです。あと営業時間の延長は、せっかく中堅の教員と話すには全面協力を取り付ける位の勢いで。以上です。

**第２回幹事会報告**

（金川）幹事会のほうに意見ではないのですが、議題２のところで「経理的には昨年以上の危機的な状況であると」ご報告されているように見えるのですが、昨年以上に危機的な状況でしょうか？

（片木）昨年の議事録の一部が残っていましたので、間違いとなっています。

（金川）これだともう一度書き直してもらわないとよくわからないですね。議事録に誤りがあると言うことでよろしいでしょうか。そこは幹事会報告とすり合わせて間違っているのであれば修正お願いをしたほうがいいと思います。以上です。